

1 単元名 「おまつりをしよう」

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力・人間性等
①お願いするためのマナーなどについて必要な情報を自分なりの方法で調べている。	①総合のゴールに向けた道筋を自分なりに考え、伝えている。 ②自分の目指す姿に向かってどのようなことをしたらよいか考えている。 ③それぞれの考えを検討し、めあてを達成するためにふさわしいかどうか判断している。	①よりよいおまつりにするために粘り強く取り組もうとしている。 ②総合的な学習の時間をふりかえり、身についた力について考え、今後に生かすイメージをもとうとしている。

3 教材のとらえ

総合的な学習の時間のオリエンテーションで学習の進め方を学び、クラスの総合で大切にしたい視点を「自分から、目標に向かってとりえを生かして協力できる楽しい学び」に決めた。その視点を大切にしながら、探究できるテーマを考えていくなかで、早い段階で「おまつりがしたい」というテーマにまとまった。誰を呼ぶのか話し合いたいという思いをもった子どもたちは、「6年生を呼んで今までの感謝を伝えるおまつりをしたい」「年長さんを呼んで1年生になることが楽しみになるようなおまつりにしたい」という意見で対立した。決定まで時間はかかったが、年長さんを呼ぶことで、自分たちが学級目標としてかかげている「下級生を導くことができる存在になる」というものも達成できるのではないかと考え、年長さんを呼ぶおまつりを開催することになった。そして、おまつりで大切にしたい柱を「自分たちが成長できる」「年長さんが学校に来ることが楽しみになる」「みんながわくわく楽しめる」に決定した。

「おまつり」というテーマは、子どもたちにとって魅力ある題材である。自分たちの思いを反映しやすく、この経験が自己肯定感を育むことにもつながると考える。一方で、おまつりは低学年の生活科で取り組むことが多い教材である。そこで、5年生がおまつりに挑戦する意味として、「年長さんに～してあげたい」という他者意識をもつことを大切にしたい。また、おまつりの開催には役割分担が不可欠である。それぞれの子どもたちがもっているとりえを生かし活躍することによって、互いに認め合い、励まし合いながら温かな学級をつくっていくことを目指したい。そして、来年度、5年生の子どもたちが6年生となり、新1年生を迎える立場になったときに、「〇〇ちゃん!」「〇〇くん!」と声を掛け合うことができる姿を目指し、1年間の学習を進めていきたい。

4 本時の指導案

本時の目標「年長さんとの交流をもとに、自分の目指す姿に向かってどのようなことをしたらよいか考えることができる。」

5 本時の学習（14/60）

学 習 活 動	教 師 の 支 援
1. 前時までの学びを振り返って今日したいことを確認する。 ・大きい声で堂々と話せるようになりたい。 ・もっと自分から話しかけられるようになりたい。 ・全員を楽しませられるようになりたい。 ・計画的に準備ができるようになりたい。 ・話し方や表情に気をつけられるようになりたい。	○前時までに1人ひとりが目指したい姿を把握し、黒板に短冊を貼っておく。 ○座席表に書いておく。 ○考えが似ている児童で席を近くにしておく。 ○今日したいことを確認する。
2. 本時のめあてを確認する。	
自分が目指す姿になるためには、どうしたらいいか考えたい!	

3. 目指す姿になるためには、どうしたらよいかワークシートに書く。 ・勝負にこだわらなくてすむルール作りをしたい。 ・もう 1 回遊んで仲良くなりたい。 ・好きなことを知っておきたい。 ・リハーサルをたくさんしたい。 ・保育園の先生にどうだったか聞いてみたい。 4. 似た姿を目指す友達と考えを共有する。 5. 全体で考えを共有する。アドバイスがあれば教えてもらう。 ・自分のことを先に話すと、年長さんは話してくれたよ。 ・何度も練習したら、堂々と話せるよ。 ・いくつか質問を考えておくと、話が盛り上がったよ。 6. 学習のふりかえりをする。 7. 次時への見通しをもつ。 ・年長さんにしてあげたいことができるようなおまつりの内容を考えたい。	○1 人ひとりが考えを整理する時間をとり、自信をもって話し合いに参加できるように用意する。 ○自分の考えに自信をもつこと、考えを広げることを目指して交流を行う。 ○同じ考えでも、自分の言葉で伝えることを大切にし、なるべく多くの児童の発言を引き出すことができるようにする。 ○座席表をもとに、挙手をしない児童にも意図的に指名する。 ○友達が目指す姿についても一緒に考え、クラス全体で高め合えるようにする。 ○もう一度自分で考え、新しく考えたことや友達の考えを聞いて考えたことを書く。 ○時間があれば数人の考えを取り上げて共有する。 【思考・判断・表現】 年長さんとの交流をもとに、目指したい自分の姿に向かうために、どのようなことをしたらよいか自分なりの考えをもつことができる。友達との関わりを通してその考えを広げている。
--	---